

2 月度木曜例会 (2018 年 2 月 1 日)

今日は、ネパールからの留学生 Yuba (ユバ) さんのお話です。昨年 10 月、IIN のアウトティングに参加されましたが、その時は来日したばかりで、日本の街を知る良い機会になったとのこと、そして、今日も招待してもらって大変嬉しいと言っておられました。また、日本ではネパール人を誰も知らないの、IIN の皆さんは家族のようだとも言ってくださいました。

仏陀の生誕地ルンビニや、ネパールの数多くの観光スポットを紹介した映像を見せていただき、質疑応答 (文中の Q&A) をはさみながらの楽しい講義となりました。



Nepal at a Glance

by Mr. Yuba Raj Guragain <Nepal>

Some Basic Facts

ネパールの国土は携帯電話を横にした形。面積は 147,181km² (日本の約 1/3)、南北の幅は平均 193km と狭いが、東西は 885km (ほぼ東京-広島間) に広がる。人口は約 2,650 万人 (2016 年)。土地の高低は海拔 70m の低地からエベレスト山の 8848m まで大きな差があり、気候風土は多様性に富む。もし暑いと感じれば、北に 1 km 行けばよい。それだけで涼しくなる!! 123 の言語があり、125 のカーストと民族からなる。識字率 65.9%、平均寿命 66 歳。

Q:カーストは民族と同じ分類? →A:カースト制度はヒンズー教における身分制度で、民族グループとは違う。<注> チェトリ、丘陵ブラーマン、カミなどのカーストは共通の民族で、総称してパルバテ・ヒンドゥーと名づけられているが、この名称はネパール国内ではあまり用いられない。(出典:ウィキペディア) >

Q:子供は学校に行くので、識字率は 100% では? →A:ネパールは農業国で、子供も農業を手伝う。95% くらいでは?

What Makes Nepal Known

・国旗は世界で唯一、四角形でない形。上の絵は月、下の絵は太陽を表している。上の三角形は頭で、月のように常に cool であり、下は身体で、太陽のように常に hot で active であるべきだという意味がある。



釈迦が誕生した場所に建てられた寺院

- ・世界の最高峰エベレストがある。
- ・Lumbini : 仏陀の生誕地ルンビニ。日本や中国、韓国、インド、ドイツ等、各国の monastery が多く建てられている。



・ Land of Gorkhas : 短剣が武器のグルカ兵<写真左>は有名。彼らは勇敢なので英国軍にも雇われた。

・ Land Locked : 中国とインドに囲まれた内陸国。(日本は Water locked!)

・ Living God <写真右> : クマリと呼ばれる、生きた女神。カトマンズのネワール・コミュニティの伝統で、選ばれた少女は人々から神として崇拝される。初潮になると退任し、新たな少女が選ばれる。



Q:クマリはどうやって選出する?→A:話し合いで決める。

Geography

ネパールは地理的に3つに分かれる。南側が平野部 (17%)、緑色の中央の部分が丘陵地帯 (68%)、北側が山岳地帯 (15%)。北側は山々で自然の要塞となっており、中国からの侵入者はないが、南側はオープンで、インドとの交流は多い。



有名な都市はカトマンズ (首都) やポカラ (ネパールで最も美しいと言われる。湖が多い。) など。

National Symbols

国花 : シャクナゲ

国鳥 : ニジキジ (キジの一種)

国獣 : 牛。牛は神聖な動物。私は牛を崇拝しており、牛肉は食べない。牛は寄進するもの。例えば、罪を犯したら、その罪を償うために僧侶に寄進する。また、牛からは牛乳が得られ、植物の肥料にもなる。

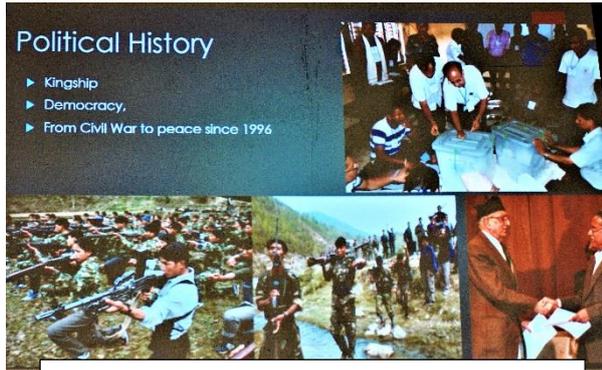
尿は、宗教行事の前のお清めとして頭からかけたり、薬として、或いはケガレ (例えば家族の誰かが亡くなった時、出産後の母親、等) から浄化するために飲まれたりする。

Q:牛の尿はどのようにして採取?→A:そこらにいたので、入れ物を持って後を追うだけ!



Political History

1950年には専制君主を倒し、民主化が導入されるが、1960年からパンチャヤート体制 (国王親政制度 : 国王主導の一党独裁体制) が始まる。1990年、民主化運動が再燃し、この体制は崩壊、1996年から2006年までマオイスト (共産党毛沢東主義派) が起こした内戦が続く。終戦後、国連等の支援もあり、2008年にはネパールで初めての制憲議会選挙が実施される (日本も投票箱を送る等の支援)。2008年はネパールにとって大きな転換期であり、2015年の新憲法公布へとつながる。



写真右上の投票箱は、日本が送ったのと同じ物

Q:識字率が低いのに、どのように投票する？→A:各政党にはシンボル (tree、sun、moon …)、各候補者には番号 (tree1、tree2 …) があるので、字が読めなくても投票できる。

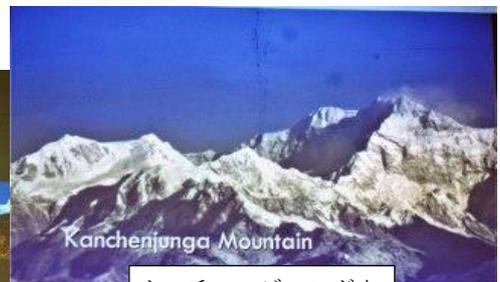
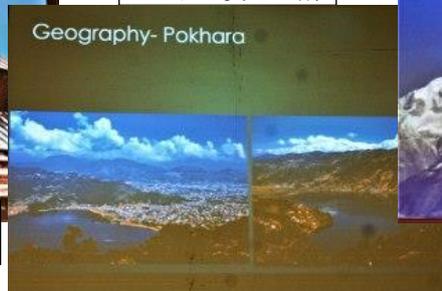
Nature

ネパールは気候風土が多様なため、動植物も多種多様。森林植生は 35 タイプあり、鳥類では世界の 9.3%、哺乳類では 4.5%の種が生存する。また、花を咲かせる顕花植物では世界の 2.7%、爬虫類では 1.6%、魚類では 1%の種を有する。



スワヤンブナート (モンキー・テンブルと言われ、猿が多い)

ポカラの美しい湖



カンチェンジュンガ山

Economy

農業が中心。右の写真左側はカルダモン、右側は'half insect, half plant' (冬虫夏草)。ある時期は虫の姿、ある時期は草になる冬虫夏草は高値で取引されるため、草になる季節には、人々はこぞって採取に行く。村全体が空洞化する。時には争いもおこることも。



通貨はネパール・ルピー (1 dollar = 105 NRs、10 yen = 9 NRs)

Society

- ・多様性の中にも統一性がある。
- ・ヒンズー教の階級社会である。
- ・血縁関係、婚姻関係とは別に、Consensual relation という関係がある。Consensual relation とは、合意に基づく関係で、ミットと呼ばれる。ミットになると親友以上に親しいことを意味し、家族のようになる。

Q:例えば、ユバさんとミットになれる？→A:勿論、なれるが、通常は同性間でミットの関係を結ぶ。

Q:ミットになるための儀式は？→A:特にない。

- ・世代間の絆も強い。日本と違い、祖父母が親以上に孫の世話をする。私は 1 歳になる娘を

ネパールに残してきたが、彼女の祖母が世話をしてくれるので、何ら問題はない。日本も、祖父母世代がもっと孫の世話をすれば、育児の問題もなくなり、出生率が増えるのでは？

- 田舎では大家族、都会では核家族で住むのは日本と似ている。
- 田舎ではお互いが協力的だが、都会は非協力的で個人主義的。

私が大学でイギリス文学を学んだ時、イギリスでは”Going together, paying separately”（夫婦は一緒に出かけても、会計は別々）という考え方があると聞いたが、ネパールではありえない。この意味でも、ネパールの家族は協力的。

- 祖父母が孫の世話をし、孫は祖父母の世話をし、というように異世代間でお互いが面倒を見る責任を持つ。
- 父親と母親は神と女神の位置付け。娘も女神と見なされるので、親でも娘に足で触れてはならない。息子は蹴っても構わないが（笑）。ただ、義理の娘は女神とは見なされない。嫁として家事に携わるので。

Q: 女兒は家庭で女神だから Living God は常に女の子ということ？ → A: そうだが、少し違う。Living God は特定のコミュニティーの習慣だが、家庭での女神は国全体の考え方。



写真<左>の左上の家は以前私が住んでいた家だが、2015年の地震で崩壊した。今はもうない。左下は遊牧民の家。

準備した講義内容の半分も話せなかった、日本には2年間滞在するので、是非また来て話したい、と言っておられました。そして、IINの招待に何度も感謝の意を表しておられました。次回もまた魅力ある、楽しい講義になることと心待ちにしています。